

## とうきょうのフクロウ類は今・5

### アオバズクが東京都区内で今夏も繁殖

川内 博

東京23区内で、昨年、アオバズクの繁殖が久しぶりに記録されたことは本誌4月号でお伝えしましたが、今年は別の場所で2羽のヒナの巣立ちが見られました。昨年の場所とはだいぶ離れていますので別の番いと思われる。

私とその繁殖の報を知ったのは8月10日の朝で、ヒナが巣立ったという内容でした。さっそく現地を訪れたところ10人くらいが、親鳥2羽・巣立ち雛2羽のアオバズク一家の写真を撮っていました。4羽はひと塊で林の一角に止まっていた、父親と思われる1羽は、少し高い位置に止まっていた。母親と思われるもう1羽の両脇には巣立ち雛が止まり【写真1】、



写真1 母鳥と2羽の巣立ち雛



写真2 愛嬌のある巣立ち雛

1羽の雛はおとなしく止まっていたましたが、もう1羽は伸びをしたり、顔をさかさまにするなど愛嬌ある行動を見せてくれました【写真2】。1時間ほどの観察時間に、望遠レンズをもった人が次々と集まり、また、通りすがりの人もスマホなどで撮っていましたが、アオバズクたちは、眼下の人間たちの動きにとくに警戒するようすもなく止まっていました。8月18日に再訪しましたが、10日とほぼ同じ場所に一家はいて、ほとんど動きはありませんでした。8月22日に訪れた時は、その日の早朝にいずこかへ飛び去ったとのことでした。常連の人に巣

は近くのヤナギの木の洞ということは教えてもらいましたが、コロナ禍のなか、継続的に長期間観察・撮影している人とは出会えず、渡来時期・抱卵状態など詳細はわからないままの状態です。

来春は、きっとコロナ禍も治まっていることでしょうかから、渡来初期からの観察を予定しています。なお、昨年繁殖した場所では、残念ながら今年は営巣しなかったようです。

#### 東京のフクロウ類事情・この冬の観察の勧め

東京都内でこれまで記録されたフクロウのなかまは、オオコノハズク、コノハズク、ワシミミズク、フクロウ、アオバズク、トラフズク、コミミズクの7種で、これから冬にかけて、東京本土部の森や林で観察できるのはフクロウ・オオコノハズクで、オオコノハズクは新宿御苑や明治神宮【写真3】でも越冬個体が記録されています。河川敷や埋立地などで観察できるのは、トラフズク・コミミズクです。多摩川や荒川などでよく見られていますが、最近はその数が激減しています。観察された方はぜひそのようすを研究部にお寄せください。



写真3 オオコノハズク 田中富夫氏撮影